

【きっとね！ 米沢のりひさ まちづくり報告会】

2021.11.19 ホテル日航ノースランド帯広

～市長講演要旨～

皆さん、こんばんは。

本日は、大変お足元の悪い中を報告会にお運びいただき、誠にありがとうございます。



以前、東京で全国市長会の会議があったときに、市民に愛される地域づくりとは、どんなことだろうと議論をしたことがあり、その中である市長が言ったことをなるほどと思い、メモしてありました。

「市民が優しく包み込まれる空間と時間を創出することではないか。つまりは、交流の居場所づくりと機会づくりではないか。地域再生

の本質と言っているのは、交流、そして心の再生にあるのではないか。」

今回のコロナ禍、パンデミックで以前の交流の在り方、そして日常がことごとく規制されたり、否定をされたと思います。交流の居場所や機会を新しい日常の中でどう作っていくのか、これが私の大きな使命であると認識をしています。

一方で、これまで既に起きていた変化、これが今回のコロナで劇的にクローズアップされたと言っている方もいます。コロナは世の中の本質を映す鏡ではないのか、こういう言い方をする方もいます。皆さんは、お仕事や生活の中で起きた、どのような変化に注目されてこられたでしょうか。

私は、今回のパンデミックを経験したこの一年半で最も注目してきたのは、情報の伝え方です。そして、メディアについてです。端的に言いますと間違った情報やフェイクニュース、このようなものを制御するには、どうしたら良いのか、このようなことを最近まで考えています。

皆さん、昨年アメリカの大統領選挙を覚えておられますか。混乱の極みだったと思います。また、その報道、メディアの危機とさえ叫ばれたこと、そんなに遠い昔ではありません。

ただ、それはアメリカだけの話ではなくて、コロナ感染症に関わる報道、この日本のメディア、報道も五十歩百歩だったのではと感じています。

真実を周知することや意見の自由の保障のために闘う勇敢なメディアもあります。ただ一方である種の権力や政治的思惑に追従して、捏造や誤った情報、誹謗中傷、ゴシップ的なことをあまり事実確認もせず流すメディアも存在することを大変残念に感じています。

新聞、ラジオ、テレビ、SNS、そしてジャーナリスト、この中のどこがこれからの10年、20年の中で生き延びていくのかを我々は、注目していかなければならないと思っています。

少し堅い話で前置きが長くなってしまいましたが、ここから本題に入ります。
今日は二つの柱建てでお話をさせていただきます。

目次	
①	近況報告
②	未来を信じる帯広

これまで市長就任して以来、年に2回、このような報告をさせていただきましたが、コロナの影響で1年3ヶ月振りとなります。

昨年9月から現在までの主な市政のトピックスを近況報告として皆さんに報告し、次に「未来を信じる帯広」と題して、十勝帯広の今の立ち位置と今後について、皆さんと一緒に考えていけたらと思っています。

初めに市のワクチン接種についてです。

この実施体制につきましては、色々議論されましたが、基本的なスタンスは通常の医療と両立させながら、安全かつ安心して接種を受けられる体制を整備していくことが私の仕事だと認識していました。

このため、かかりつけ医療機関による個別接種を基本としながら、幅広い世代の方が、接種を受けやすいように集団接種の体制を整備していくという考え方でまいりました。日本で初めて経験した大事業で、スケジュールや予約方法等の改善を図りながら取り組んできました。この間、皆様には大変ご不便をおかけすることもありましたが、それぞれのタイミングで我々ベストを尽くしてまいりました。

ワクチンの進捗状況であります。

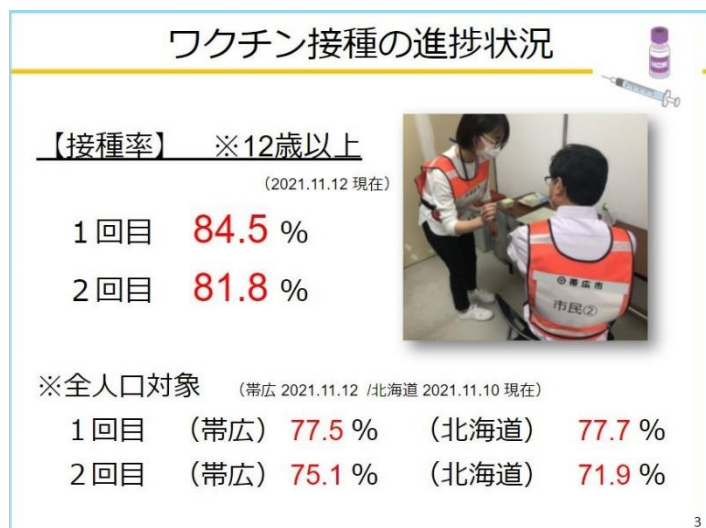
11月19日現在、接種対象である12歳以上の1回目が84.6%、2回目が82.6%となっています。最終的に帯広市は85%程度の接種率になるのかなと思っています。

当初、マスコミで帯広市より進んでいると言われていた苫小牧市や釧路市は、既に抜いています。

皆さんからスタートダッシュについてご懸念をいただきましたが、安全で安心な体制づくりを行い、今確実に

できたかなと思っています。もちろん、札幌市、旭川市、函館市はこの数字にまだ遠く及ばない状況であります。

それから国で議論されています3回目の接種であります。現在、実施時期や方法について医師会と調整を進めているところです。来週には、医療従事者への接種券の送付を始めることができる予定となっており、一般の市民の皆様には、12月中旬以降に送付をさせていただく準備をしています。ご案内のように、原則2回目接種が終わって8か月経ってからとい



うことになりますので、最初は 65 歳以上の方の 7 月末までに終わらせるとありましたね、それに 8 を足していただければ、2 月の末から 3 月が皆さんに最初に 3 回目を打っていただくタイミングかなと考えています。

次に、「ファンミーティング」を昨年 10 月に十勝、11 月に東京都で行いました。

ファンミーティング (十勝)2020/10/15 (東京) 11/11



5

これは十勝の魅力をこれからどう考え、どう展開していくのかを考えるときに、十勝のファンの皆さんに集まってもらって話を聞こうということです。

今までは、マーケティングなどのプロの人に話を聞いていましたが、十勝が大好きだよというファンを集めてみようじゃないかと。実は、マーケティングの世界に「パレートの法則」というのがあります。「80：20 の法則」ともいわれ、「売上の 8 割は 2 割の社員に

依存する」といった傾向をさす言葉です。ですから、我々は満遍なくマスコミで大きく宣伝をしていますが、実は 2 割の人が 8 割の売りに関与・寄与しているということになりますと、コアな正にファンの人に十勝に来ていただくということが重要なのではないかと思います。

ふるさと納税をしていただいている方やいろんなグループから、東京都、大阪府、十勝、15 名ほど集まっていただいて、ファンの方と話をしてみました。大変有意義でデータ解析をしているところです。例えば、サッカーやバスケのファンを考えてください。どこで試合をしても、札幌市、旭川市などいろんなところからファンの方が自前で帯広市に来てくれる。ファンの方はこちらがお願いしなくても、逆に向こうからこちらに、これをしろ、あれをしろと言ってくれます。そういうことをもっと展開していこうと思っています。

昨年 10 月は少し忙しく、中部の経済同友会で講演を依頼され、行ってまいりました。

当日はコロナ禍の為 WEB で行いましたが、企業経営者など 1,000 名近くの方が聞いていただきました。

この会長をしておられるのが、敷島製パン、Pasco の盛田さんです。ソニーの盛田さんの親せきで、今大変業績が伸びている会社です。十勝の小麦を買っていただいて、国産小麦 100% のパンを作ろうとしていただいている方です。

皆さんご存じのように、十勝に入植した上位 5 県の内、富山県、岐阜県、福井県が中部です。そういうところの皆さんと関係づくり

中部経済同友会 講演 (2020/10/29)



6

を進めいているところです。航空会社の FDA も現在、こちらに入ってくる形でいろんな検討をしていただいているなど、名古屋との接点を作っています。

道内 7 空港の一括民間委託が今年の 3 月 1 日からスタートしました。

写真の下であります、皆で手をつないでいるのは、昨年 1 月 18 日、新千歳で行われた記念式典、上の写真は帯広で行われた記念式典です。



これから今年の 3 月 1 日に正式にビジネスが移譲されたということになります。

市の公的負担がどのくらい削減されたかといいますと、30 年間で 77 億円です。従来と同じような形で帯広市が管理していれば 77 億円必要になったということになります。

現在コロナで大きな影響を受けていますが、後ほど高速道路網の充実の話ですとか、日高山脈の国立公園化の話をして

たしますが、帯広空港がここにあるということの意味は非常に大きくなっていくと思います。昨日、国の航空局長が、帯広市役所をお訪ねいただきました。帯広への期待をたくさんいただきました。「アウトドア」というキーワードに今一番北海道でマッチしているのは東北海道、その中でも帯広ではないかというお話をいただき大変うれしく思いました。

日本を代表する自転車の道、これをナショナルサイクルルートという形で国が指定しています。

「トカプチ 400」は、帯広を起点にして八の字型に北は上士幌町、南は大樹町まで 400 km になりますが、ここをサイクルルートとして指定いただきました。国のホームページでも積極的に発信していただけることになりました。

皆さん、しまなみ海道を聞いたことがあると思いますが、これが第 1 回の指定で決まったところで、もう一つ琵琶湖一周コース、ピワイチコースというのがありますが、ここを含めて 3 か所が第 1 回目に指定され、我々は第 2 回目の中でナショナルサイクルロードに指定され大変喜んでます。十勝の 18 町村、総合振興局、北海道経済産業局と連携をして、とかちアウトドア観光推進プランというのを昨年作成しました。



ここでも人間の縁を感じたのですが、私が市長になる前の会社で一緒に仕事をしたことのある、その頃は若い経済産業省の役人が産業局長で来ていまして、懐かしいねという話から、こういう活動をしようと1年間で話がまとまりました。これからもコロナ感染症が、観光産業に影響を与えますが、アウトドアは、これからも地域の活性化に大きく貢献すると思います。

帯広自然保護官事務所の設置が6月29日に行われました。



日高山脈の日勝峠から襟裳岬までこの一帯は今国定公園になっていますが、現在、国立公園化の話が進んでいます。これが実現しますと道内では釧路湿原に次いで7か所目となります。今、鋭意詰めの手続きを進めています。最速では来年令和4年12月に国立公園の指定を受けるということとなります。

この写真は帯広自然保護官事務所が帯広市に開所していただいたときのものであり、国立公園化に向けて、諸々の作業をするために

自然保護官1名、補佐官1名が配属されました。

何度もお話ししておりましたが、国立公園化しますと、十勝は3つの国立公園に隣接することになります。3つの国立公園に一定の時間以内で届く空港は日本でも帯広空港だけです。

その間、高速道路もしっかりと先の見える形でスケジューリングされてきましたので、先ほどのサイクリング、アウトドア観光というものを考えますと非常に大きな風が今こちらに吹いているなと感じています。

次に、帯広市医師会によります看護専門学校¹⁰の整備が今動いています。

これから、在宅医療の重要性や増加を考えると、この看護専門学校に期待するところが非常に大きいと思います。

残念ながら十勝の医療圏で人口10万人当たりの看護師の就業者数は道内平均を下回っています。求人倍率にすると2.4倍もあります。また人口10万人当たりの看護師養成学年定員は、全道の6圏域の中で最低という状況です。こうした中で今年の3月末に帯広市医師会が新たな看護養成学校の整備計画をまとめ、9月末に道へ設置の許可申請書を提出し、令和5年4月の開校予定で進んでいます。今北海道で審議中ではありますが、順調に進んでいるものと承知しています。

帯広市の旧職員会館跡地に建設することにつきましても、市議会で6月25日に土地の無償貸与議案が可決いただきました。

帯広市医師会 看護専門学校への支援 (6/25)



現在の市医師会看護専門学校

毎年畜大で、「とかち学」の講義をしています。

帯広畜産大学「とかち学」講義 (7/28)



今年は今までと違い、小樽商大の学生、室蘭工大の学生も一緒にネットで参加し、新しい経験をしました。その後、学生からアンケートの回答をいただきましたが、嬉しい内容でした。小樽商大と北見工大からは「畜大は市長が来て講義をするのか、うちはしてくれない」「非常に感心した」などと言ってくれました。

その中でいくつか言葉を使いました。「努力は夢中に勝てない」、「課題を機会に 欠点を個性に宿命を使命にしろ」と。わりと今の学生はこういうことに反応を示してくれるとわかりました。どんな未来を彼らが抱いているのか、どんな未来が待っているのか、そういう中でどんなことをしてほしいかなどを中心に 90 分間講演をしました。私も大変勉強になりました。

「札幌・北海道スタートアップエコシステム協議会」です。

今、国のスタートアップに対する予算は個別に付きづらくなってきました。地域毎につける、その地域に指定されていないとこの予算がついてこない仕組みになりました。

その中で、札幌市と帯広市と一緒に組み、北海道スタートアップエコシステム協議会をつくり申請をして、認定を受けることができました。大変地味ですが、非常に大きな一歩です。

写真で私の隣に写っているのは、札幌市秋元市長で同じ年で仲良くさせてもらっています。

この日は国の担当に色々説明をした日です。秋元市長の隣には北大の総長もいました。ただ、質問の 9 割は十勝についての質問でした。改めて国が期待しているのは、札幌市のような大都市におけるスタートアップ、起業・創業ではなくて、十勝のような農業、食にかかわってのスタートアップに期待しているのが、ひしひしとわかりました。

これからもこのシステムを使って、十勝に国の予算を引っ張ってきます。

札幌・北海道スタートアップエコシステム協議会 (8/24)



JAL・JALUX との共同記者会見 (10/4)



JAL・JALUX との共同記者会見です。

10月4日に行いました。JAL・JALUX のネットワークを使って十勝をもっともっと売り込んでいこうということでもあります。

10月10日によつ葉アリーナ十勝のオープニングセレモニーを行いました。

よつ葉アリーナ十勝 オープニングセレモニー
(10/10)



14

今日、お出でになった皆さんに大変お世話になった建物です。駐車場もきれいになり、グランドオープンをさせていただきました。

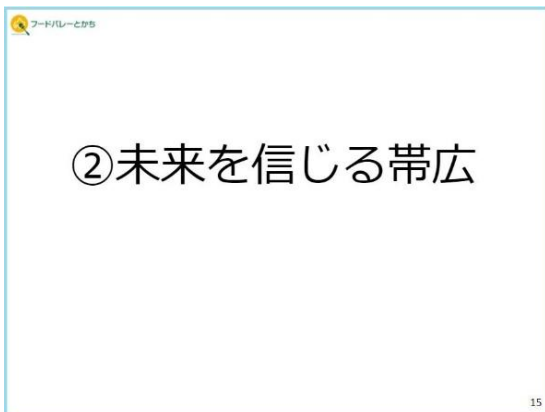
私は 50 年前高校生の時に以前の体育館ができ、そこでバレーボールをして感動しました。

隔世の感がありました。広さだけでも 2.5 倍になり、今、若いお母さん達も子供を連れて、子供の体を動かすのにたくさん使っています。コロナ禍ではありますがこ

の 1 年間の利用者数は、旧体育館の時をはるかに上回っています。

名前の「よつ葉アリーナ十勝」であります。ネーミングライツと言いまして、名前を付ける権利を 30 年間で、総額 2 億 5 千万円によつ葉さんが買っていただきました。

これは大変ありがたく感じています。



二つ目の「未来を信じる帯広」について、お話をします。



16

「あおあお ひろひろ いきいき 未来を信じる帯広」、これは昨年策定した第7期帯広市総合計画の将来のまちの姿であります。

「あおあお ひろひろ いきいき 未来を信じる帯広」、これまでは、田園都市という単語が必ず入っていましたが、今回は子供もイメージしてもらえ言葉にしたいと思い、この言葉にしました。

中で読んでも何も変える必要がないと感じています。

これでダッシュするつもりでしたが、今ブレーキがかかっている状況ですが、第7期総合

計画では真ただ中であります。

その中で、人口減少率は2015年と2020年を比較した数字です。

人口減少率（2015年対2020年）		
都市	人口（人）	増▲減率
札幌市	1,975,065	1.2%
旭川市	329,513	▲3.0%
函館市	251,271	▲5.5%
苫小牧市	170,234	▲1.4%
帯広市	166,690	▲1.6%
釧路市	165,230	▲5.8%
江別市	121,145	0.4%
北見市	115,608	▲4.6%
小樽市	111,422	▲8.6%
千歳市	98,019	2.5%

増加した石狩圏3市を除き
**減少率
低水準**

出典：「国勢調査」
※2015年に対する2020年の増減率

人の数と地価というのは、まちの活力を考えるとときのバロメーターだと思います。十勝、帯広はどの辺にあるのかということ、今年6月に発表された2020年の国勢調査の速報値によると、石狩圏、札幌市、江別市、千歳市は増加をしています。基本的に札幌市です。

あと帯広市と苫小牧市の減り方が少ないというのがお気づきになるかと思えます。かなり健闘しています。つい先日まで

帯広市と釧路市で鏝迫り合いをしているといわれていましたが、はるかに数字に差がついた印象です。

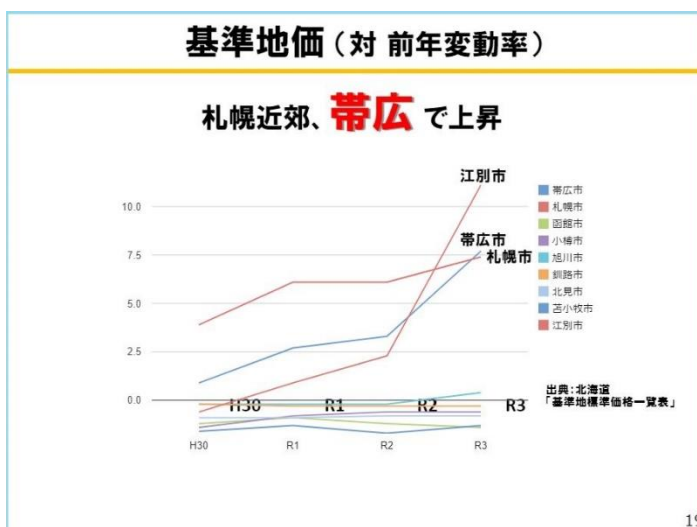
公示地価についてです。

北海道の中で、地価が上がっているのは、ニセコと札幌、それともう一か所だけ上がっているところがあります。これが十勝の中の1市3町、帯広市と周辺の3町です。

人口と土地の値段は、誰が何もいえないくらい、その地域の今の元気さを表しています。



次に道が9月に発表した基準地価です。



十勝は29年ぶりに全用途で平均がプラスになりました。宅地、商業地、工業地全部上がっています。一番上は江別市、その下が帯広市、札幌市。札幌市より上がり方が大きいです。皆さんあまりご存じではないと思いますが、江別市は札幌市のベットタウンとして土地が大変上がっています。今帯広市が上がったと言いましたが、音更町も帯広市以上に上がっていますし、芽室町も上がっています。

今、二つ申しましたように、全道平均から見てもはるかに上だということ、皆さんと共有したいと思います。

これは今日お集りの皆様のご存じの数字ですが、十勝管内の農協取扱高はこの10年で2,300億円から3,400億円に上がっています。

確かな産業基盤、挑戦する人材の力

【十勝管内 農協取扱高】

出典:「十勝総合振興局」

2,380億円 (2010年)



3,456億円 (2020年)

【とがち・イノベーション・プログラム】

構想 **51**件 / 事業化 **17**件 / 参加 **507**名
(2015年～2020年度の延べ数)

これは驚異的だと思います。それから、「とがち・イノベーション・プログラム」というのがありまして、起業・創業をしていますが、事業化しているのが、この5年で51件の構想が作られ、17件の創業もありました。他の地域をはるかに凌駕しています。

20

最後のスライドです。高速道路です。

阿寒～釧路間は2024年に直結します。それから、足寄～陸別間は事業再開しました。十勝清水～トマム間は4車線化の整備促進をしています。それで長流枝と新得でスマートICが整備されます。それと大樹と広尾までがこれについても、つい先週、中川代議員と回ってきました。道路局長は今まで行った中で一番前向きな返事をして頂いていますので、また中川代議員と来年の2月までに、もう一押し二押ししてぜひ実現したいと思っています。

高速道路網の充実

- ・足寄～陸別間 事業再開
- ・阿寒～釧路間 2024直結の見通し
- ・十勝清水～トマム間 4車線化の整備促進
- ・長流枝、新得 スマートICの整備



21

こういうことが起きると、本当に高速ネットワークができてくる。帯広は通過点ではなく結節点となる。ひがし北海道の要衝となるという風を感じています。

昔、ある事業家が言ったことがあります。「夢に日付を入れるんだ」この言葉が好きで覚えています。この道路がつながるといことは、十勝それから帯広がひがし北海道において、さらに存在感を増すためのスタートが切れると思っています。

流通、これは大きな問題です。要衝ですから、ここを通らずに行けないのです。それから食糧供給基地です。食糧備蓄基地の姿も見えてきます。

それからつい先日、津波の可能性についての新しいデータが政府から出ましたが、考えるとリスクの非常に高い沿岸地帯があります。そう考えると十勝帯広の位置づけは北海道の中の災害時のいろんな資材を運ぶための要衝にもなるということになります。

今日、清水町長もお出でですが、4車線化、単純に札幌までの時間が短くなりますが、先週道路局長とのお話で、それだけではないと言われました。

これからトラックの運転手さん、労働問題もあります、人数も少なくても雇用できなくなる。

そうするとこれから必要になるのは、自動運転のトラックです。それはどうやってやるのか、4車線化の高速道路の内側を使うのが最も可能性が高い。つまり、4車線化にしていないと長距離のトラックを無人で使えないことになります。

こう考えると4車線化は非常に重要になってきます。それが札幌と帯広までの間、十勝までの間が4車線化してくるという話を付け加えて考えると、まさに今十勝帯広は大変な重要な時期に来ている。大きく変わる時期に来ていると思います。

「三度のごはんきちんと食べて 火の用心 元気で生きよう きっとね！！」

これは一期目の選挙の時のキャッチフレーズで覚えていただいていると思いますが、「きっとね！」という言葉はここからとりました。

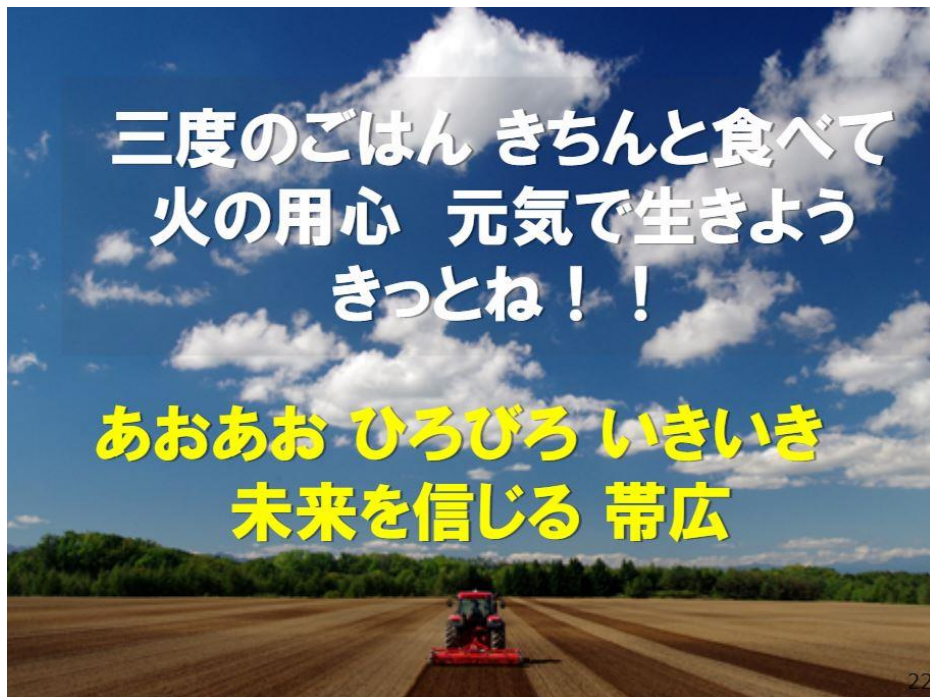
市長の仕事は、三度のごはんをきちんと食べられるような政策をすること、家族と一緒に食べられるようにすること、きちんと食べられる習慣づけをすること。

火の用心 災害から守られるようにすること。

そして健康で元気に生きられようにすること。これが柱なのです。

これを12年間やってきました。第7期の総合計画の中で、キャッチフレーズを「あおあお ひろびろ いきいき 未来を信じる帯広」こうさせていただきました。

この二つです。未来へ向けて、明日は絶対よくなるんだ。努力をしたら必ず報われるんだ。という気持ち、それをみんなで共有できる地域、みんなで未来を信じることができる帯広。これを私の使命として、これからも追及していきたいと思っています。



以上で今回の報告会におけます報告を終わらせたいと思います。
ご清聴ありがとうございました。